



2023年度

藍畑だより

第5号

(修学旅行・遠足特集号)

2023.5.23(火)

発行責任者 上萩琴美

「修学旅行」四方山話

学校行事としての修学旅行の始まりは明治時代に遡ります。その実質的な歴史的起源は、1886(明治19)年2月に東京師範学校(現・筑波大学)が実施した「長途遠足」だと言われており、「修学旅行」という名称も、同校が独自に使用し始めた造語だそうです。(公益財団法人日本修学旅行協会『修学旅行の歴史』より)

時を経て、徳島県内の小学校では関西方面への修学旅行が当たり前になっていましたが、コロナ禍では、取り止めや延期、行き先変更を余儀なくされました。やっと以前のように実施できるようになりましたが、Twitterには「費用に見合うだけの学習効果はあるのか」「修学旅行は家庭と教員の負担でしかない」という声もあがっており、今後、様々な角度から議論する時期がきているのかもしれない。

今回、初めて泊を伴う学校行事を体験した6年生からは、「ホテルでの時間が一番楽しかった」「みんなとの楽しい思い出がくれた」という感想が聞かれ、男女関係なく仲のよいクラスのまとまりを感じた修学旅行でした。

6年生 修学旅行(5月18・19日)

【1日目】5月18日(木)

曇り空で少々気温高めでしたが、爽やかな風が吹く中、大阪城・東大寺・法隆寺の見学をしました。

奈良公園では、鹿との触れ合いも楽しみました。今年は、観光客が多く、エサをもらえて鹿も嬉しそうでした。



【2日目】5月19日(金)

あいにくの雨となりましたが、清水寺・金閣寺を見学し、東映太秦映画村に行きました。

おばけ屋敷やいろいろなアトラクションを楽しんだ後のお土産選びも楽しい思い出です。



1～5年生 遠足5月19日(金)

【1～3年生】とらまるパペット・ランド

体調不良のため、全員が参加できなかったのが残念ですが、雨など気にせず楽しい時間を過ごすことができました。



【4・5年生】渦の道・大塚国際美術館

大鳴門橋をバックに写真撮影した時は、まだ晴れ間も見えています。大塚国際美術館では、有名な絵画に親しみ、感性を磨きました。



藍畑小教育

□ 学校教育目標

『心豊かで、たくましい子どもの育成』-自ら気づき、考え、実行できる子どもの育成-

□ めざす児童像

「あ」 あいさつをする子

「は」 はげましあって がんばる子

「い」 いじめをしない やさしい子

「た」 たくましい子